

# 監査報告書

令和2年5月14日

社会福祉法人向陽福祉会

理事長 山口 康二 殿

監事 永野 卓美



監事 萬谷 正樹



私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### ① 事業報告等の監査結果

- 事業報告等は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### ② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

### ③ 向陽福祉会の現状に鑑み、今後検討すべきと考えられる事項について付言いたします。

りんどう苑については、令和2年3月期は赤字決算で終わってしまったが、職員との十分なコミュニケーションを図るなどして引き続き改革を進める必要があると思われる。また、かねてより要望のあった入浴施設のリフォームを行うと共に、施設の幹部人事を刷新するなどして積極的に改革に取り組んでおり、未だ結果において成果を確認出来るには至っていないものの、令和3年3月期には一定の成果が期待できるものと認められる。

以上